

SAIBUGAS REPORT 2020

株主のみなさまへ

第127期のご報告



ごあいさつ -----	01
業績の概要 -----	03
西部ガスグループ 中期経営計画 -----	05

トピックス-----	07
連結財務情報 -----	09
個別財務情報 -----	11

会社の概要・株式の状況・ 重要な子会社等・役員 -----	13
----------------------------------	----

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より当社の事業運営につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第127期事業年度(2019年4月1日～2020年3月31日)における業績のとりまとめを終えましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

当社グループは、2016年に策定した西部ガスグループ中期経営計画「スクラム2019」のもと、ガスエネルギー事業を中心としたうえで、ガスエネルギー以外の事業の拡大にも注力し、事業構造の多様化・強靭化に向けたグループ変革を進めてまいりました。そのような中、エネルギーの自由化をはじめ競争環境の変化に柔軟かつ迅速に対応しながら、グループとして更なる飛躍を図るために、新たに西部ガスグループ中期経営計画「スクラム2022」を策定いたしました。

「スクラム2022」では、「スクラム2019」で掲げた「お客様から圧倒的な信頼をいただくエネルギーと暮らしの総合サービス企業グループ」という目指す姿の実現に向け、引き続き取り組みつつ、目標とするガスエネルギー以外の事業の内訳を明確に定めることにより、その取り組みを加速してまいります。

当社グループを取り巻く事業環境は、電力・ガス小売全面自由化によるエネルギー間競争の激化などにより一層厳しさを増しております。また、直近では、新型コロナウイルス感染症におけるお客様の予防対策などの、当社グループ事業に与える影響も大きくなりつつあります。これらを踏まえ、当社グループは「スクラム2022」の着実な実行を通して、グループ価値の更なる拡大を図るとともに、より強なお客さまからの信頼を獲得していくことで、当社グループの持続的な成長を実現



しうるよう、グループの総力を結集し、以下の経営課題について着実に対処してまいります。

① エネルギーシェアの拡大

都市ガス、LPG、LNG、電気など、お客様の快適なくらしや社会に不可欠なエネルギーをお客さまのご要望に応じて最適に組み合わせて提供し、お客様が使用されるエネルギーのトータルシェア拡大を図ってまいります。

また、競争環境が厳しさを増す中、これまで以上にお客さまとのつながりを強め、更なる関係の深化を図れるよう、従来のエネルギー供給に加え、お客様のご要望をくみ取った魅力ある付加価値サービスの充実に努めてまいります。

特に、当社グループ事業の中核をなすガスエネルギー事業に関しましては、豊富な潜在需要を有する業務用分野の開拓に一層注力し、産業用需要を中心として、重油などの燃料を使用されているお客様に対して、省エネ性、環境性などに優れた都市ガス、LPG、LNGなどを総合的に提案していくとともに、お客様の事業内容やエネルギーに関するご要望に対応したソリューション提案を推進してまいります。また、飲食店などのお客様を対象に、水まわりや電気設備の修理などのガス機器以外のトラブルにも対応する「あきないプラスサービス」など、当社独自の多様なサービスの提供に努めてまいります。

家庭用分野におきましては、柔軟かつ低廉な料金プランによる価格面での訴求に加え、引き続き家庭用燃料電池エネファームをはじめとしたガス機器の普及拡大や電気とガスのセット販売を推進していくとともに、ガス機器の故障やすまいのトラブルに対して24時間365日対応する「ヒナタくらしサービス」を充実させることなどにより、快適なくらしをサポートしてまいります。また、まちづくり・再開発・建物建設といった不動産開発事業などにおいて、計画段階から、ディベロッパーさま・ハウスメーカーさまなどに対してグループのソリューション力を活かした提案をしていくなど、お客様のビジネスそのものに貢献し、当社グループを真のパートナーとして選んでいた

だくための取り組みを推進してまいります。

② お客様の安全・安心と安定供給体制の更なる強化

エネルギー事業者として最大の責務であるお客様の安心・安全の確保につきましては、ガス生産設備及び供給設備の災害対策やセキュリティの向上はもとより、お客様設備の安全対策の確実な実施に加え、当社が提供する各種エネルギーをお客さまが安心してご利用いただくための取り組みを一層強化してまいります。

また、現在建設中の九州北部幹線をはじめ、ひびきLNG基地を中心とした強固なガス生産供給基盤の整備を継続するとともに、大規模な災害などにおいて早期復旧を可能とする防災拠点の整備を進めるなど安定供給体制の更なる強化を図ってまいります。

③ グループ事業の拡大

ガスエネルギー事業を引き続き推進しつつ、不動産事業やリノベーション事業、健康・レジャー事業、電力事業など、ガスエネルギー以外のグループ事業の拡大にも注力し、将来に亘る安定的なグループ収益の確保に向けた取り組みを加速してまいります。

具体的には、多くのグループ事業とのシナジー効果が期待できる不動産事業をガスエネルギー事業に次ぐ収益の柱として成長させてまいります。また、ひびきLNG基地の立地条件の優位性や拡張性を活かし、当社グループがこれまでに培ってきたLNG事業のノウハウを活用できる国際エネルギー事業の拡大も図ってまいります。このような不動産事業や国際エネルギー事業など成長を見込める分野を中心に、積極的な投資を実施してまいります。

更には、2019年7月に熊本市内で開業したホテル事業や、同年12月に福岡市内に開業した滞在型の温浴施設事業、また、ベンチャー企業をはじめとする成長企業などへの出資・支援を

実施していくなど、当社グループの強みと経営資源を最大限活用しながら、新たな分野での事業についても積極的に推進してまいります。

④ グループ経営基盤の強化

事業環境の変化に適かつ迅速に対応し、エネルギー自由化的時代に適応した強靭なグループ経営基盤を構築するため、グループ全体最適の視点で事業構造を変革していくなど、グループ全体の企業価値向上に資する取り組みを強化してまいります。

具体的には、グループ経営における戦略の策定やガバナンスなどの仕組みを見直し、グループ全体の企業価値の向上を図るとともに、地域に根差した事業展開を通して、お客様のご要望を的確にくみ取り、サービス品質の向上と効率的な事業運営を推進してまいります。これらを実現するために、当社は、純粹持株会社体制及び地域に根差した事業体制を主な内容とする、当社グループ新体制への移行について検討を開始いたしました。

また、最新のデジタル技術を活用した、新たな価値の創出や業務の効率化・高度化を図るとともに、グループ内における人事交流や、専門的な知識・経験を有する人材の積極的な採用を実施することなどによって、グループ全体としての生産性の向上や組織の活性化に取り組んでまいります。

以上の経営課題への着実な対処により、事業の健全な発展に邁進するとともに、株主のみなさまやお客様からの信頼にお応えし、地域社会とともに発展していく企業グループを志向してまいる所存であります。

株主のみなさまには、格別のご理解を賜りますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申しあげます。

2020年6月

代表取締役社長 道永 幸典

業績の概要

当連結会計年度の連結売上高は、原料費調整によるガス料金単価の下方調整やガス契約を他事業者へ切り替える「スイッチング」の影響などによりガス売上が減少したものの、不動産事業の売上が増加したことなどから、前期に比べ0.5%増の2,044億4千5百万円となりました。

経常利益につきましては、都市ガス原材料費は減少したもの、電力事業や不動産事業において売上原価が増加したほか、新規連結子会社増加の影響により供給販売費及び一般管理費が増加したことから、前期に比べ22.9%減の75億2千9百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ14.6%減の46億9千5百万円となりました。

事業別の業績は、以下のとおりであります。

① ガス

当連結会計年度末の都市ガス事業におけるお客様数は113万6千戸であり、都市ガス販売量は前期に比べ2.0%減の8億8,303万4千m³となりました。このうち業務用ガス販売量につきましては、供給先の需要減やスイッチングの影響などにより前期に比べ5.1%減の5億5,487万6千m³となり、家庭用ガス販売量につきましても、前期に比べ4.4%減の2億2,908万8千m³となりました。また、他のガス事業者への卸供給ガス販売量につきましては、卸供給先の需要増加などによって前期に比べ27.9%増の9,907万m³となりました。

以上のような都市ガス販売量の結果と原料費調整によるガス料金単価の下方調整の影響などにより、連結売上高は前期に比べ2.3%減の1,250億2千2百万円となりました。

② LPG・その他エネルギー

LPG・その他エネルギー事業につきましては、LPG売上が減少したものの、電力販売件数の増加などにより電力売上高が増加したことから、連結売上高は前期に比べ0.2%増の305億7百万円となりました。

③ 不動産

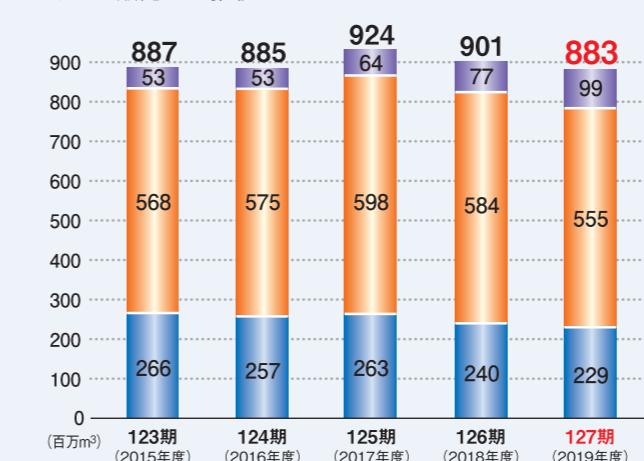
不動産事業につきましては、新規連結子会社が増加した影響により、連結売上高は前期に比べ11.4%増の359億4千万円となりました。

④ その他

その他の事業には、食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業などが含まれており、連結売上高は前期に比べ1.7%増の277億5千1百万円となりました。

■ガス販売量及び連結業績の推移

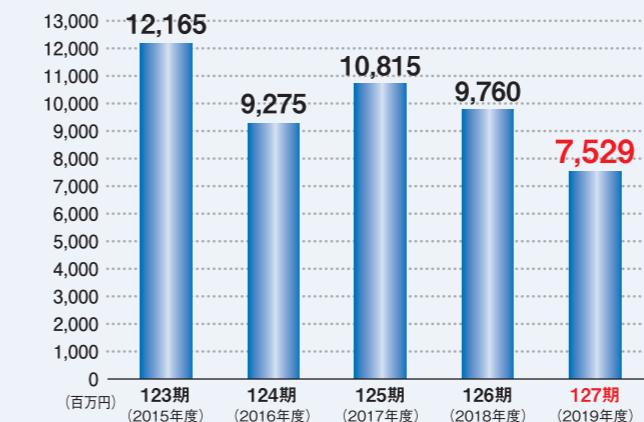
◎ガス販売量の推移



◎売上高



◎経常利益



◎親会社株主に帰属する当期純利益



(注)「ガス販売量」については、45MJ/m³で表記しております。

スクラム2019 ~グループ一体で着実に前進~

当社グループは、グループ中期経営計画「スクラム2019」のもと、ガスエネルギー事業を中心としたながら、ガスエネルギー以外の事業の拡大にも注力し、事業構造の多様化・強靭化に向けたグループ変革をすすめてまいりました。その結果、2026年度にはガスエネルギー以外の事業の売上高構成比を5割程度まで引き上げるという目標に対し、2019年度実績で3割を超え、おおむね順調に推移しています。

スクラム2022 ~さらなる飛躍を~

エネルギーの自由化をはじめ競争環境の変化に柔軟かつ迅速に対応しながら、グループとして更なる飛躍を図るために、新たに西部ガスグループ中期経営計画「スクラム2022」を策定しました。

本計画でも「スクラム2019」で定めた目指す姿の実現に向けて引き続き取り組みつつ、目標とするガスエネルギー以外の事業の内訳を明確化し取り組みを加速させます。

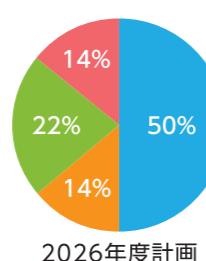
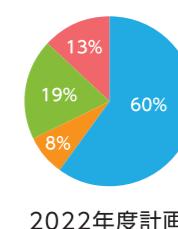
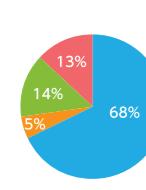
ガスエネルギー事業をグループ事業の中核としつつ、多くのグループ事業とのシナジー効果が期待できる不動産事業をガスエネルギー事業に次ぐ収益の柱として成長させます。

本計画期間中に、不動産事業や国際エネルギー事業^{*1}などへ最大500億円の成長投資を実施し、定常投資と合わせ最大1,000億円の投資を行います。

目指す姿

お客さまから圧倒的な信頼をいただく
エネルギーとくらしの総合サービス企業グループ

●グループ事業構成(売上高構成比)^{*2}



4つの事業

- ガスエネルギー
- 不動産
- 電力その他エネルギー
- 食関連その他

*1 国際エネルギー事業は、電力その他エネルギーに含みます。
*2 スクラム2019策定時と同一の前提条件(原油価格・為替)で算出しています。

主な取り組み

ガスエネルギー事業

快適な暮らしやビジネスを支える エネルギーの供給

都市ガス、LPG、LNGなど、お客さまの快適な暮らしや社会に不可欠なエネルギーをお客さまのニーズに応じて供給し、グループのエネルギーシェア拡大を図ります。

家庭用

ヒナタ暮らしサービスを充実させるほか、家庭用燃料電池エネファームの普及拡大やガスと電気のセット販売を通して、快適で環境にやさしい暮らしを提案します。また、グループのソリューション力を活かし、まちづくり支援を強化するとともに、住まいに関するご相談にワンストップでお応えし理想の家づくりを支援します。

業務用

業務用では潜在需要の発掘・拡大に取り組むとともに、お客さまのビジネスニーズに最適なエネルギーシステムを提供します。

お客さまの安全・安心の確保と更なる 安定供給体制の強化

エネルギー事業者にとって、お客さまの安心・安全の確保と安定供給は最大の責務です。保安対策や防災機能の更なる充実・強化に引き続き取り組んでいきます。

保安の確保

人財育成や技術の継承に継続的に取り組み、保安水準の維持・向上に努めます。

安定供給

九州北部幹線の建設を進め、北九州～福岡の高圧幹線を複線化していきます。

防災対策の強化

大規模災害時などで早期復旧を可能とするための防災拠点の整備を進めるとともに、実践的な防災訓練で災害対応力を高めます。

電力その他エネルギー事業

電力事業の取り組み

電力事業はガスエネルギー事業とのシナジーが期待できるだけでなく、事業構造の多様化にも寄与します。グループの経営資源を活用しながら、電力小売事業や発電事業に取り組みます。

国際エネルギー事業の取り組み

ひびきLNG基地の立地条件の優位性や拡張性を活かし、当社グループがこれまでに培ったLNGのノウハウが活用できる国際エネルギー事業の拡大を図ります。

不動産事業

多くのグループ事業とのシナジー効果が期待できる不動産事業の拡大に取り組みます。住宅分譲事業を引き続き推進するとともに賃貸事業を強化し、不動産事業全体の収益拡大と事業の安定性向上を図ります。

食関連その他事業

ガス事業との親和性の高い食関連事業を着実に推進していきます。また、グループ事業の多様化のために、事業領域の拡大に取り組みます。

デジタル化の推進

新たな価値の創出と業務効率化・高度化による競争力の強化

グループ経営基盤の強化

経営管理体制の見直し
人財の育成

ESGの推進

環境や地域社会への貢献を通した
持続可能な社会の発展への取り組み

トピックス

TOPIC1 “GAS Tips”プロモーションの展開

当社は、「それ、ガスでやってみよう!」をテーマとする“GAS Tips”プロモーションを展開しています。

「GAS Tips」とは、「ガス」という単語と「生活をより良くするコツやヒント、生活に役立つちょっとした豆知識」を意味する「Tips(チップス)」という単語を組み合わせた造語です。

「“GAS Tips”プロモーション」は、これまで当社との接点が少なかったお客さま、普段ガスのことを意識されていないお客さまなどへのアプローチ強化を目的としており、WEB動画の公開や特別イベントの開催を通じて、ガス機器の魅力やガスのある暮らしの良さを発信していく活動です。

当社はエネルギーと暮らしの総合サービス企業グループとして、ガスや電気の供給と共に、お客さまに付加価値を感じて頂けるサービスを提供し、お客さまとのつながりを一層深め「お客さまから選ばれる企業」を目指していきます。

TOPIC2 アメリカ ガス火力発電事業への出資参画について

当社は、東邦ガス株式会社、広島ガス株式会社と共同で新たにTSHバーズボロー社を設立し、双日バーズボロー社の持分取得を通じて、米国ペンシルバニア州バーズボローのガス火力発電事業会社Birdsboro Power LLCに出資参画します。

なお、当社が海外発電事業に出資参画するのは初めてとなります。

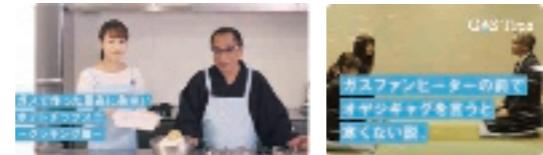
米国のガス火力発電は、シェールガス革命の恩恵で価格競争力があり、収益性のある事業と見込んでおります。

当社は、グループ中期経営計画「スクラム2022」の達成に向け、成長が見込める国際エネルギー事業分野に経営資源の投下を行っていきます。

【“GAS Tips”プロモーションの取り組み】

●WEB動画の公開

当社ホームページ特設サイト上で、ガス機器の魅力やガスのある暮らしの良さなどをお伝えする「GAS Tips動画」を公開しています。



(URL:<http://www.saibugas.co.jp/home/gastips/>)

●キッチンカーとポテトチップス

福岡のポテトチップス製造・販売会社「株式会社フクハク様」とタイアップし、「ガスで作った最高に美味しいポテトチップス」を作製しました。イベントにご参加いただいた方に、キッチンカーでのコーヒーの提供とポテトチップスをプレゼントしています。



TOPIC3 第10回日本でいちばん大切にしたい会社「審査委員会特別賞」受賞

当社は、「人を大切にする経営学会」(会長:坂本 光司 元法政大学大学院教授)・「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞実行委員会(実行委員長:清成 忠男 事業構想 大学院大学 顧問)が主催する第10回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞において、「審査委員会特別賞」を受賞しました。

本大賞は、人^{※1}を大切にし、人の幸せを実現する取り組みを継続的に実践しながら業績を上げている会社を表彰するもので、今回の受賞は大変励みになるものです。

今後とも、当社の目指す姿である「お客さまから圧倒的な信頼をいただくエネルギーと暮らしの総合サービス企業グループ」に向けて、社員一人ひとりの人格や個性を尊重するとともに、働きがいがあり、仕事を通じて人間的な成長を図ることのできる

ダイバーシティ&インクルージョン企業を目指していくことで、ステークホルダーや社会との信頼関係を構築していきます。

受賞理由

- 短時間フレックスタイム制の導入など、理念に基づいた誠実な経営が行われ、社員の転職的離職率が極めて低い。
- 障がい者雇用率は2.96%^{※2}と高く、特例会社(西部ガス絆結株式会社)から一定額以上の仕入れをしている。また、同社の設立経緯・社長の抜擢は高く評価できる。
- 共済会の遺児年金制度を採用している。

※1 本大賞の「人」は、(1)従業員とその家族、(2)外注先・仕入先、(3)顧客、(4)地域社会、(5)株主の5者を指します
※2 西部ガスと西部ガス絆結を合わせた雇用率(2019年6月1日時点)

西部ガスグループ会社のご紹介 西部ガスタイルンド、SGエンリッチ

SAIBU GAS (Thailand) Co., Ltd.(以下、西部ガスタイルンド)、SG ENRICH CO., LTD.(以下、SGエンリッチ)は2019年に設立されたタイの現地法人及び合弁会社です。

現在、タイ現地のディベロッパーさまと協同し、戸建住宅の分譲事業プロジェクト「THE MARQII Exquisite」(分譲戸数65戸)に取り組んでいます。

西部ガスタイルンドは、本プロジェクトにおいて管理・運営を、SGエンリッチは戸建住宅を建築・販売する役割を担っています。

戸建住宅の販売は建売分譲の形態で行われ、大きい区画では建坪が約130坪、小さい区画でも100坪を超え、高級感のある仕様となっています。2019年より建築を着手し、本年6月より順次販売を開始する予定です。

西部ガスグループ中期経営計画「スクラム2022」においてエネルギー事業に次ぐ収益の柱として位置付けられている不動産事業の海外事業を担い、今後も積極的に拡大し、西部ガスグループの収益拡大に貢献していきます。

SAIBU GAS (Thailand) Co., Ltd. 会社概要

- 所在地 タイ王国 ノンタブリー県
- 設立日 2019年1月23日
- 資本金 100万バーツ
- 代表者 松田 和久
- 主な事業内容 不動産の売買、賃貸、管理事業

SG ENRICH CO., LTD. 会社概要 (戸建分譲事業における合弁会社)

- 事業主 SAIBU GAS (Thailand) Co., Ltd.とタイ現地ディベロッパー「ENRICH ESTATE HOLDING CO., LTD.」、日系企業のタイ進出を支援している「SRCS International Co., Ltd.」3社の合弁会社



◀地場ディベロッパー「ENRICH ESTATE HOLDING CO., LTD.」が開発を手掛けた分譲地例
(左:戸建外観、右:分譲地ゲート)

連結財務情報

SAIBUGAS REPORT 2020

■連結貸借対照表

資産の部	当期末	前期末	負債の部	当期末	前期末
固定資産	2020年3月31日現在	2019年3月31日現在	固定負債	2020年3月31日現在	2019年3月31日現在
有形固定資産	292,261	289,909	社債	181,608	197,508
製造設備	236,086	239,314	長期借入金	55,560	65,000
供給設備	43,668	49,485	繰延税金負債	111,849	118,970
業務設備	54,963	57,950	ガスホルダー修繕引当金	299	1,090
その他設備	17,261	17,567	退職給付に係る負債	338	332
建設仮勘定	99,464	98,092	資産除去債務	2,042	1,979
無形固定資産	20,727	16,217	その他固定負債	367	361
のれん	2,741	2,371	流動負債	11,150	9,774
その他無形固定資産	49	44	1年以内に期限到来の固定負債	113,552	90,356
投資その他の資産	2,692	2,326	支払手形及び買掛金	48,271	27,397
投資有価証券	53,433	48,223	短期借入金	12,658	17,893
長期貸付金	38,494	34,150	未払法人税等	36,272	26,530
退職給付に係る資産	2,237	1,702	役員賞与引当金	1,680	2,671
繰延税金資産	3,723	3,781	その他流動負債	27	32
その他投資	2,654	2,429	負債合計	14,641	15,829
貸倒引当金	7,180	6,979	純資産の部	295,160	287,865
関係会社投資損失引当金	△ 856	△ 731	株主資本	70,118	68,440
流动資産	83,503	80,513	資本金	20,629	20,629
現金及び預金	20,758	18,405	資本剰余金	5,837	6,070
受取手形及び売掛金	21,168	24,337	利益剰余金	44,025	41,930
有価証券	50	50	自己株式	△ 373	△ 191
商品及び製品	7,522	5,614	その他の包括利益累計額	4,685	8,548
仕掛品	18,132	14,767	その他有価証券評価差額金	3,885	6,930
原材料及び貯蔵品	8,001	10,672	為替換算調整勘定	8	—
その他流动資産	8,013	6,824	退職給付に係る調整累計額	792	1,617
貸倒引当金	△ 143	△ 158	非支配株主持分	5,800	5,569
資産合計	375,765	370,423	純資産合計	80,604	82,557
負債純資産合計	375,765	370,423			

■連結損益計算書

科 目	当 期	前 期
売上高	2019年4月1日~2020年3月31日	2018年4月1日~2019年3月31日
売上原価	204,445	203,478
(売上総利益)	128,294	126,096
供給販売費及び一般管理費	(76,151)	(77,381)
(営業利益)	68,589	67,285
	(7,562)	(10,095)
営業外収益	2,405	2,262
受取利息	7	4
受取配当金	859	787
持分法による投資利益	261	—
雜質貸料	497	493
雜取入	779	977
営業外費用	2,438	2,597
支払利息	1,425	1,560
持分法による投資損失	—	201
社債発行費償却	—	101
雜支	1,013	734
(経常利益)	(7,529)	(9,760)
特別利益	572	1,015
固定資産売却益	572	—
退職給付制度終了益	—	1,015
特別損失	944	1,421
投資有価証券評価損	944	908
関係会社投資有価証券評価損	—	210
貸倒引当金繰入額	—	302
(税金等調整前当期純利益)	(7,157)	(9,354)
法人税、住民税及び事業税	1,753	2,702
法人税等調整額	373	522
(当期純利益)	(5,030)	(6,130)
非支配株主に帰属する当期純利益	334	633
親会社株主に帰属する当期純利益	4,695	5,496

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当 期	前 期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,956	19,020	△1,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,489	△22,946	△2,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,263	6,486	3,777
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	—	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,743	2,560	183
現金及び現金同等物の期首残高	16,888	14,327	2,561
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	119	—	119
現金及び現金同等物の期末残高	19,751	16,888	2,863

■連結株主資本等変動計算書(当期 2019年4月1日~2020年3月31日)

	株主資本						その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額		
当期首残高	20,629	6,070	41,930	△ 191	68,440	6,930	—	1,617	8,548	5,569	82,557
当期変動額											
剰余金の配当			△ 2,597								△ 2,597
親会社株主に帰属する当期純利益			4,695								4,695
自己株式の取得			△ 182								△ 182
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			△ 233								△ 233
連結範囲の変動			△ 2								△ 2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△ 3,045								△ 3,632
当期変動額合計	—	△ 233	2,095	△ 182	1,678	△ 3,045	8	△ 825	△ 3,862	230	△ 1,953
当期末残高	20,629	5,837	44,025	△ 373	70,118	3,885	8	792	4,685	5,800	80,604

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務情報

SAIBUGAS REPORT 2020

■貸借対照表

資産の部		当期末	前期末	負債の部		当期末	前期末
		2020年3月31日現在	2019年3月31日現在			2020年3月31日現在	2019年3月31日現在
固定資産		179,259	169,660	固定負債		108,853	117,132
有形固定資産		110,024	107,933	社債		55,000	65,000
製造設備		8,885	9,189	長期借入金		49,739	46,002
供給設備		52,457	55,069	関係会社長期債務		2,866	4,295
業務設備		19,089	19,351	繰延税金負債		298	816
附帯事業設備		10,809	9,971	ガスホルダー修繕引当金		318	313
建設仮勘定		18,783	14,351	その他固定負債		629	704
無形固定資産		1,338	1,672	流动負債		44,138	24,874
投資その他の資産		67,897	60,054	1年以内に期限到来の固定負債		20,062	7,036
投資有価証券		22,853	25,880	買掛金		2,790	6,801
関係会社投資		40,228	31,996	短期借入金		11,000	-
長期貸付金		30	30	未払金		1,547	1,134
社内長期貸付金		4	8	未払費用		3,369	3,616
関係会社長期貸付金		2,668	2,458	未払法人税等		697	1,249
長期前払費用		129	100	前受金		354	483
前払年金費用		2,346	1,315	預り金		396	410
その他投資		1,426	1,369	関係会社短期債務		3,739	3,935
貸倒引当金		△1,790	△1,622	その他流动負債		181	206
関係会社投資損失引当金		-	△1,482	負債合計		152,991	142,006
流动資産		28,136	30,814	純資産の部			
現金及び預金		2,807	2,649	株主資本		51,383	52,542
受取手形		564	787	資本金		20,629	20,629
関係会社受取手形		780	1,220	資本剰余金		5,699	5,699
売掛金		9,355	10,841	資本準備金		5,695	5,695
関係会社売掛金		1,225	1,681	その他資本剰余金		4	4
未収入金		783	201	利益剰余金		25,427	26,404
製品		77	85	利益準備金		4,396	4,396
原 料		7,136	9,858	その他利益剰余金		21,031	22,007
貯 藏 品		986	986	固定資産圧縮積立金		408	459
前 払 費 用		77	63	別途積立金		9,400	9,400
関係会社短期債権		1,646	349	繰越利益剰余金		11,222	12,148
その他流动資産		2,748	2,152	自己株式		△373	△191
貸倒引当金		△51	△62	評価・換算差額等		3,021	5,926
				その他有価証券評価差額金		3,021	5,926
				純資産合計		54,404	58,468
資産合計		207,396	200,475	負債純資産合計		207,396	200,475

■損益計算書

費用		当期	前期	収益		当期	前期								
		2019年4月1日~2020年3月31日	2018年4月1日~2019年3月31日			2019年4月1日~2020年3月31日	2018年4月1日~2019年3月31日								
売上原価	高価	51,106	53,330	ガス事業売上高	ガス事業売上高	99,809	103,400								
当期製品販売原価	低価	85	76	ガス送供給収益	ガス送供給収益	97,264	101,722								
当期製品自家使用高価	高価	51,170	53,419	事業者間精算収益	事業者間精算収益	2,162	1,310								
当期末在庫高価	低価	71	80			382	367								
(売上総利益)	(費用)	(48,702)	(50,069)												
供給一般管理費	費用	34,739	34,997												
(事業利益)	費用	11,376	11,094												
當業雜費	費用	(2,586)	(3,977)												
受注工事費	費用	12,556	12,941	営業雑収益	営業雑収益	12,973	13,259								
その他	費用	3,793	3,634	受注工事費	受注工事費	3,932	3,748								
その他	費用	8,763	9,306	その他営業雑収益	その他営業雑収益	9,040	9,510								
附帯事業費用		12,664	11,179	附帯事業収益	附帯事業収益	12,572	11,052								
(営業利益)		(2,911)	(4,167)												
營業外費用		1,127	1,072	營業外収益	營業外収益	2,497	2,880								
支払債権償却	利息	265	421	受取利息	受取利息	1	1								
社債倒引	利費	492	409	取扱利	取扱利	762	714								
支行賃貸	償入額	101	101	配当金	配当金	1,088	1,252								
倒引金	償入額	168	200	取扱金	取扱金	378	378								
支金	額出	138		料入	料入	267	533								
(経常利益)		(4,281)	(5,975)												
特別損失		2,108	2,427	特別利益	特別利益	-	863								
投資有価証券評価損		906	908	退職給付制度終了益	退職給付制度終了益	-	863								
関係会社投資有価証券評価損		215	210												
貸倒引当金繰入額		-	393												
関係会社投資損失引当金繰入額		-	915												
関係会社事業再編損		987	-												
(税引前当期純利益)		(2,172)	(4,412)												
法人税等		42	748												
法人税等調整額		509	622												
当期純利益		1,621	3,040												
合計		127,852	131,455	合計	合計	127,852	131,455								
■株主資本等変動計算書 (当期 2019年4月1日~2020年3月31日) (単位:百万円)															
	株主資本						評価・換算差額等	純資産合計							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他利益剰余金	別途積立金	繰越利益剰余金									
当期首残高	20,629	5,695	4	5,699	4,396	459	9,400	12,148	26,404	△ 191	52,542	5,926	5,926	58,468	
当期変動額						△ 50		50	-						
固定資産圧縮積立金の取崩し								△ 2,597	△ 2,597						
剰余金の配当								1,621	1,621						
当期純利益								△ 182	△ 182						
自己株式の取得								△ 2,904	△ 2,904						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								△ 2,904	△ 2,904						
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△ 50	-	△ 925	△ 976	△ 182	△ 1,158	△ 2,904	△ 2,904	△ 4,063	
当期末残高	20,629	5,695	4	5,699	4,396	408	9,400	11,222	25,427	△ 373	51,383	3,021	3,021	54,404	

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

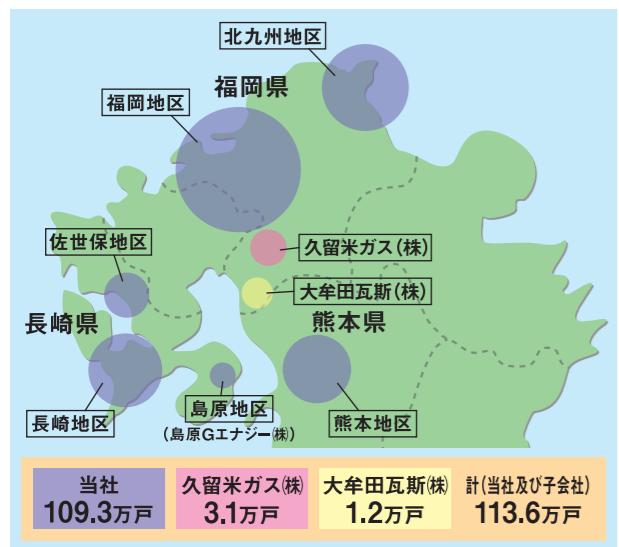
●会社の概要 (2020年3月31日現在)

設立年月日	1930年12月1日
資本金	206億2,979万2,546円
従業員数	1,309名
主な事業内容	(1)都市ガスの製造、供給及び販売 (2)液化天然ガスの販売 (3)ガス機械器具の製作、販売、設置 及びこれに関連する建設工事
供給区域	福岡市、春日市、大野城市、福津市、 北九州市、熊本市、合志市、長崎市、 佐世保市など3県16市15町
主要事業所	福岡、北九州、熊本、長崎、佐世保

●発行株式数・株主数(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	8千万株
発行済株式総数	3,718万7,567株
株主数	9,146名

●都市ガスお客さま戸数(取付メーター数)(2020年3月31日現在)

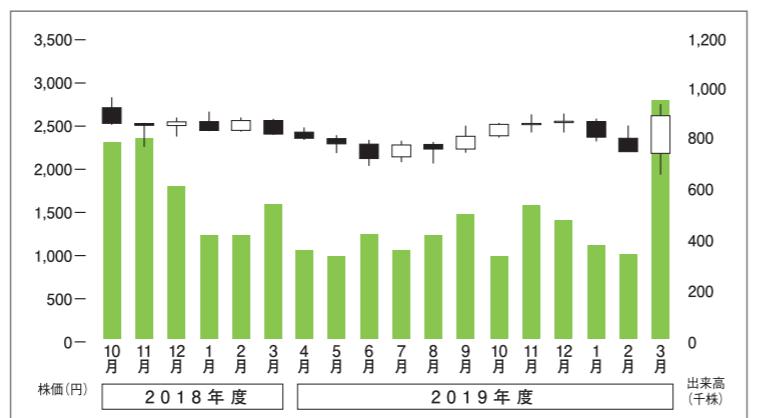


●上位10名の株主(2020年3月31日現在)

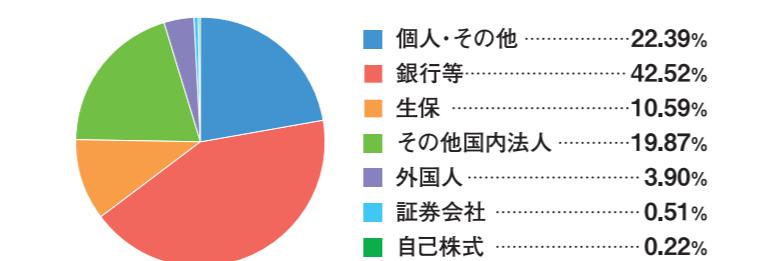
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本生命保険相互会社	2,464	6.64
株式会社福岡銀行	1,835	4.95
株式会社西日本シティ銀行	1,824	4.92
株式会社三井住友銀行	1,748	4.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,183	3.19
西部瓦斯持株会	1,089	2.94
S G 共栄会	949	2.56
三井住友信託銀行株式会社	848	2.29
日本トラストサービス信託銀行株式会社(信託口)	661	1.78
株式会社親和銀行	636	1.71

(注)出資比率は自己株式(81,528株)を控除して計算しております。

●株価及び出来高の推移(東京証券取引所)



●所有者別株式分布状況(2020年3月31日現在)



●主要な連結子会社(2020年3月31日現在)

会社名	主要な事業内容	資本金
ひびきエル・エヌ・ジー株式会社	LNGの受入・貯蔵・気化・加工及び供給事業	6,000百万円
SGインキュベート第2号投資事業有限責任組合	企業及び事業等への出資・支援	2,510百万円
SAIBU GAS USA Co., Ltd.	不動産開発事業	15,500千ドル
SG ENRICH CO., LTD.	住宅建築・宅地開発及び不動産の売買	305百万バーツ
SGインキュベート第1号投資事業有限責任組合	企業及び事業等への出資・支援	1,000百万円
株式会社エストラスト	不動産販売事業・不動産賃貸事業・不動産管理事業	736百万円
久留米ガス株式会社	都市ガス及びLPGの供給・販売、ガス機器販売	490百万円
西部ガスエネルギー株式会社	LPGの卸供給及び販売	480百万円
西部ガスリビング株式会社	住宅リフォーム・住宅設備機器・ガス機器の販売及び修理並びに保守管理	480百万円
株式会社TERASO	不動産賃貸業	480百万円
九州ガス圧送株式会社	ガス事業者向けのガスの製造及び供給事業	450百万円
西部ガステクノソリューション株式会社	エネルギー設備の設計・施工・保全・熱供給事業、エネルギーサービス事業	450百万円
西部ガス興商株式会社	不動産業・物品販売	400百万円
西部ガス情報システム株式会社	情報システムの開発及び業務処理の受託	400百万円
西部ガスライフサポート株式会社	有料老人ホームの運営	400百万円
株式会社八仙閣	中華料理店の運営	300百万円
株式会社アンペレーナ	不動産の賃貸及び管理	250百万円
大牟田瓦斯株式会社	都市ガスの供給・販売、ガス機器販売	200百万円
エスジーグリーンハウス株式会社	農産物の栽培及び販売事業	200百万円
筑後ガス圧送株式会社	都市ガスの卸供給及び販売	200百万円
九州八重洲株式会社	住宅建築・宅地開発及び不動産の売買	180百万円
西部ガス・カスタマーサービス株式会社	ガス消費機器調査、内管検査、ガスマーターの検針・ガス料金の収納業務	180百万円
エスジーケミカル株式会社	炭素材・塗料化成品の製造及び販売	100百万円
SGキャピタル株式会社	金銭の調達・貸付・運用業務	100百万円
エネ・シード株式会社	再生可能エネルギーによる発電事業及び業務受託	100百万円
エネ・シードひびき株式会社	再生可能エネルギーによる発電事業	100百万円
エネ・シードウインド株式会社	再生可能エネルギーによる発電事業	100百万円

(注)当期の連結子会社は上記27社を含む46社であります。

●持分法適用会社 (2020年3月31日現在)

PETROVIETNAM LOW PRESSURE GAS DISTRIBUTION JOINT STOCK COMPANY	天然ガス配給	899,990百万円
グリーンランドリゾート株式会社	遊園地等の運営	4,180百万円
株式会社マルタイ	即席めんの製造、販売	1,989百万円
KFT株式会社	省エネルギー設備の製造及び販売	100百万円

●取締役 (2020年6月25日現在)

●執行役員 (2020年6月25日現在)

典良明太徳司雄介伸督史二久浩夫成茂潤夫
幸 章公健敏洋浩 秋卓和正時良 貴

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区 和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日		電話照会先	電話 0120-782-031
定時株主総会	3月31日		
期末配当金	3月31日		
中間配当金	9月30日		
公告方法	電子公告により行い当社ホームページに掲載 (http://www.saibugas.co.jp/) ※やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞、福岡市において発行する西日本新聞に掲載する方法とします。		

株主さまへのご案内

●単元未満株式をご所有の株主さまへ

単元未満株式をご所有の株主さまにつきましては、ご所有の単元未満株式の買い取りを当社にご請求できる「**単元未満株式買取請求制度**」または単元株式(100株)にまとめるため、単元株式数に不足する数の当社株式の買い増しを当社にご請求できる「**単元未満株式買増制度**」のご利用が可能です。



※単元未満株式の買取・買増手続の当社手数料は無料となっております。

●特別口座に株式をお持ちの株主さまへ

ご所有されている株式の市場取引は、証券会社の口座(一般口座)で行うこととなりますので、特別口座でご所有の株式は予め一般口座への振替手続が必要となります。

※特別口座から一般口座への振替には手数料はかかりませんが、証券会社によって、口座開設や口座管理に手数料がかかる場合があります。

※株式に関するお問い合わせ先

住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金のお受取り方法の変更など株式に関する各種お手続きは、お取引の証券会社などにお申出ください。なお、証券会社などに口座がないため特別口座が開設された株主さま、未受領の配当金をお受け取りになる株主さまは、特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社 電話0120-782-031)にお申出ください。